

2015
No. 296
1

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



水戸で当地アイドル(仮)のみなさんとポーズ！(関連記事P3)

Contents

- 2 新年のご挨拶
第64回茨城県社会福祉大会を開催しました
- 3 福祉職場2014フェスティバルを開催
茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出
- 4 ～ 5 **特集** 県内全ての子に希望の光を届けたい!!
～低所得世帯等児童・生徒の学習支援
『チャレンジ塾』の取り組み～
- 6 ～ 7 地域福祉活動レポート
- 8 いばらきねりん文化祭わくわく美術展作品募集のお知らせ
介護支援専門員実務研修受講試験の結果
新施設の紹介

- 9 福祉・介護職を目指す方へ
福祉施設職員等研修ガイド
- 10 社協職員リレートーク
- 11 information
- 12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん



社会福祉
法 人

ふれあいネットワーク

茨城県社会福祉協議会



新年のご挨拶

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
会 長 関 正 夫

新年明けましておめでとうございます。

日頃から、茨城県社会福祉協議会の活動に大変深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、依然として進行する少子高齢化や人口減少をはじめ、社会・経済状況の変容により、孤立や困窮など、既存の制度だけでは十分に対応できないさまざまな生活課題が生じております。

そのような中、今年4月からは生活困窮者自立支援制度や介護保険制度の改正に伴う新しい地域支援事業、子ども・子育て支援新制度といった新しい制度が始まることとなり、私ども福祉関係者の使命はますます大きくなっていくものと考えております。

茨城県社会福祉協議会におきましても、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を基本理念とし、無縁社会や新しい生活課題に立ち向かって前進してまいりたいと考えております。

今後とも、県、市町村社会福祉協議会など、関係機関・団体の皆様と、より一層連携を深めながら、地域福祉の推進に邁進していく所存でございます。どうぞ、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

どうか、本年も皆様にとりまして明るい笑顔の多い年となりますようにご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

第64回茨城県社会福祉大会を開催しました

10月16日、茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の主催により、小美玉市小川文化センターアビオスにおいて「第64回茨城県社会福祉大会」を開催しました。

当日は、地元小美玉市の玉里保育園 & ルンビニー学園幼稚園によるマーチングバンドで幕開け。子どもたちの元気いっぱいな演奏に、会場から大きな拍手が送られました。

記念講演は、講談師の宝井琴桜氏に「講談で語るみんなで支える高齢社会」と題して、地域の支え合いの



オープニングアトラクションの様子



関会長から表彰を受ける受賞者

大切さについて、リズミカルにかつ面白く分かりやすくご講演いただきました。

また、式典では561個人・団体の皆様が、県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰、県共同募金会会長表彰を受賞されました。

最後に、茨城県立多賀高校ボランティア部の生徒により「大会宣言」が提案され、満場一致で採決されました。

受賞者の皆様のご功績とご苦勞をたたえますとともに、今後ますますのご発展をお祈りいたします。

福祉職場 2014 フェスティバルを開催

今年で7回目となる「福祉職場 2014 フェスティバル」を、11月1日（土）、水戸駅ビルエクセルを中心に開催しました。

駅ビルエクセルホールでは、福祉の仕事・職場、介護福祉士養成校等の紹介や、介護食、福祉分野で活躍するロボットなどを展示し、福祉の仕事や職場について理解を深めていただける内容としました。

また、ペDESTリアンデッキなど屋外には、県内障害者福祉施設等で作られたお菓子や工芸品を販売する



ペDESTリアンデッキの様子



ステージ演技 よさこいソーラン（幸香枝花の村・きよらの郷）

「福祉の店」を置いたほか、茨城県共同募金会による「赤い羽根」街頭募金活動ブースや、昔遊びの体験コーナーを設置しました。

あいにくの雨天のため、屋外で予定していたステージプログラムは、屋内での開催となりましたが、金上保育園児、幸香枝花の村・きよらの郷利用者、茨城シニアマスターによる発表や、水戸ご当地アイドル（仮）のライブで会場を盛り上げていただき、全体で約1,200名の方々にお集まりいただきました。

茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出

県社協を含む県内の福祉団体で構成される茨城県社会福祉予算対策委員会は、10月1日、県庁にて「平成27年度県社会福祉に関する要望書提出式」を行いました。

要望書では、福祉・介護人材確保等の推進と、来年4月に施行される「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」の円滑な施行についての2点を重点要望に掲げています。

また、県社協としては、人材確保関係事業をはじめとする4事業の事業継続や充実について要望しました。

提出後は知事と委員で意見交換を行い、橋本知事からは、「これからも関係団体の皆様からのお話を伺いながら県政に反映させていきたい」とのお話がありました。



上方委員長が橋本知事に要望書を提出しました

●県社協要望事項

- 1 介護福祉士等修学資金貸付制度の継続について
- 2 福祉・介護人材確保のための緊急確保対策事業の継続について
- 3 生活福祉資金貸付制度の円滑な推進について
- 4 日常生活自立支援事業の補助金増額について



県内全ての子に 希望の光を届けたい!!



～低所得世帯等児童・生徒の学習支援『チャレンジ塾』の取り組み～

平成26年8月現在、県内の生活保護世帯は20,000世帯を超え、平成25年度の*準要保護児童は14,977名となっています。

県社協では、様々な理由で家庭では勉強をすることができない子ども達を対象に、居場所づくりと学習支援を通じた世帯の自立に向けて、地域のボランティアの協力を得て、学習支援『チャレンジ塾』に取り組み始めました。

※準要保護児童…要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる世帯の児童生徒

● 国の動き

政府は平成26年8月、「子どもの貧困対策大綱」を策定しました。親から子への貧困の連鎖を防ぐため、教育費の負担軽減や親の就労支援などに取り組むことになります。

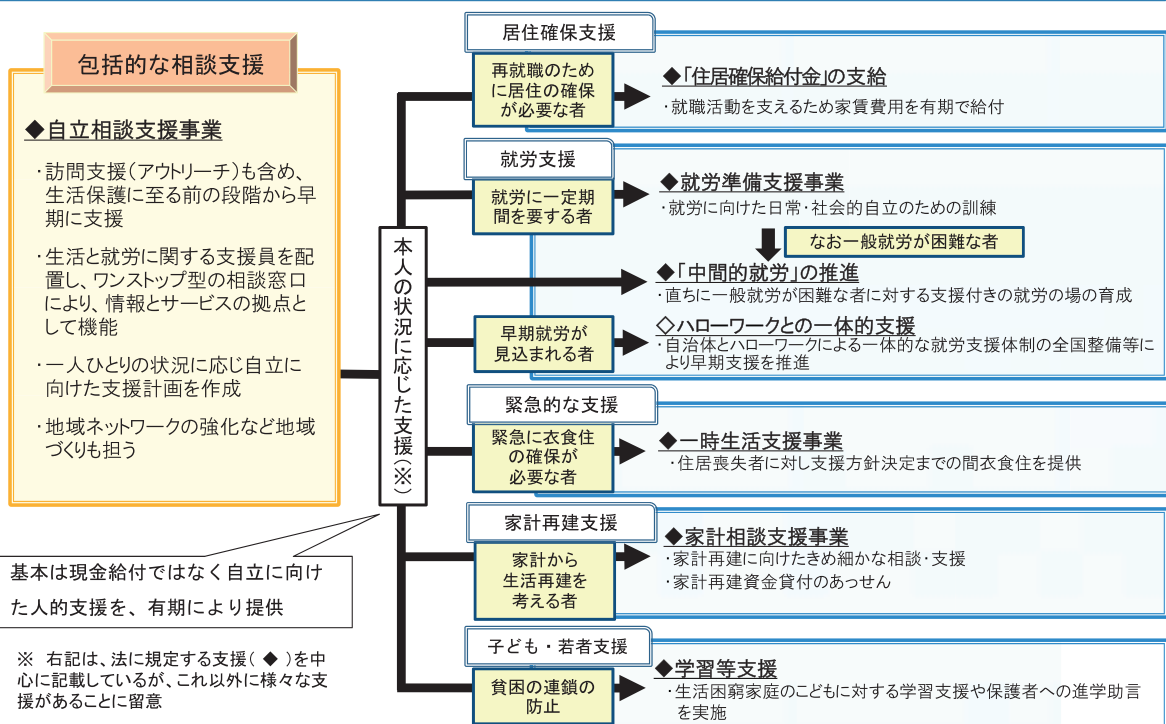
また、今年4月からは、「生活困窮者自立支援法」が施行され、全ての市で生活困窮者に対する相談支援機能を強化するほか、任意の取り組みとして本人の状況に応じた就労訓練や家計管理の支援、生活困窮家庭の子どもへの学習支援等が行われることとなります。

子どもの貧困とは？

一般的な水準以下の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在。

平成24年の子どもの貧困率は16.3%になり、6人中1人の子どもが貧困家庭で育っている。

新たな生活困窮者自立支援制度



（厚生労働省 HP から抜粋）

●『チャレンジ塾』について



『チャレンジ塾』は、水戸市内のひとり親世帯、日々の生活に精一杯で子の勉強を家庭でみることができない世帯の子ども達を対象とした、大学生や地域のボランティア等による学習支援の取り組みです。



生活保護世帯で育った子が成人しても生活保護を受給する割合は高く、また高校進学率も生活保護世帯の子は生活保護でない世帯よりも低いという数値が出ています。そのような状況の中で、子の居場所をつくり、自立した生活力を身につけられるよう、学習の機会の提供によって側面的に支援をするため、昨年8月に『チャレンジ塾』を立ち上げました。

『チャレンジ塾』という名前には、通っている子、保護者、また支援に関わるボランティアも、それぞれが“チャレンジする場になって欲しい”という願いが込められています。

～参加児童（小5）の声～

今日の勉強で私の分からなかった所がスラスラと進み、解けるという楽しさをとっても分かることができてうれしかったです。そして、まちがってしまった問題もよく説明をしてくださったおかげでスッキリしました。次はもう1つの教材を持ってきて今日のようにスッキリ！と楽しく勉強をして、勉強を好きになりたいです。（ふりかえりシートより抜粋）

～参加児童の保護者の声～

息子のことはいつも心配でいつも送り届けた後、うまくやっているか、誰かにご迷惑をかけていないか心配ばかりしています。でも、お迎えに行くと、ニコニコしているので楽しくできたのだなあと思って一安心です。色んな年代の方と交流することによって息子も最近少しですが、成長しているなと思うことがあるので、このような塾がもっと増えたらいいなと思っています。（保護者アンケートより一部抜粋）

～ボランティア者の声～

チャレンジ塾での子ども達との関わりは大変楽しく、もっと長い時間関わっていたいと思っています。子ども達が理解できないところが分かるようになったり、学校での成績が上がったりなど聞くと大変うれしくなります。何しろ準備もなくぶっつけ本番で教えるのですから、終わった後で教える方はベストだったのか、もっと良い教え方があったのではないかと反省しきりです。子ども達とともに進化したいと思います。是非週1回、低料金での開催が実現することを願っております。そのために学習支援員に学習面以外でも協力を求めるのが、必要ではないでしょうか。（中島 豊）



●これまでと今後



『チャレンジ塾』開校にあたり、県庁、水戸市役所、地元小・中学校等関係機関に協力依頼を行い、地元小・中学校及び近隣のスーパー等にチラシを配りながら、ボランティアや児童・生徒の募集を行いました。昨年8月から原則月1回（平成26年11月現在）開催し、夏休みには特別講習（4回）も行いました。

また、よりよい取り組みとすべく、ボランティアと共に他県の同様事業の視察やセミナーへの参加も行っています。

平成26年11月現在、児童・生徒は15名、ボランティアは34名参加しており、マンツーマンで個々に寄り添った支援を行っています。そのような中、もっと支援回数を増やせないだろうかという声がボランティア、保護者双方からあがり、回数を増やす方向で調整を進めています。

『チャレンジ塾』は、単に高校に合格することを目標にしている訳ではなく、勉強にとらわれすぎない子どもの居場所でもあって欲しいと考えています。地域の人たちと共に『チャレンジ塾』の取り組みを広げ、通っていた子ども達が将来は自立した生活を送りながら、次の教え手、運営者となって、県内全ての子ども達に希望の光を届けてもらいたいと思っています。



はんどちゃんネットワーク運動 地域福祉活動 レポート!

平成26年11月23日取材

牛久市



牛久市奥野小地区社会福祉協議会 住民交流活動で 支え合い社会を!

奥野小地区社会福祉協議会が主催する、3回目となる「そば収穫祭」が11月23日、牛久市正直町にある旧中央保育園を利用した同社協事務所で、地元企業等の協賛も加わり盛大に開催され、大勢の地区住民や関係者などで賑わいました。

会場では、訪れた地域住民に、地区内の耕作放棄地を有効活用して収穫したそば粉を使った熱々の「そばがきけんちん汁」が振る舞われたほか、同じく地域で採れたサツマイモ、そば粉、ハヤト瓜、りんごなどの販売や大根の無償配布、ボランティアと住民が一体となったダンスの競演が行われるなど「地域住民の交流の輪」を大きくする活動が活発に展開されました。

この収穫祭を通じて、老若男女を問わず、住民同士の絆やつながりが一層深まったものと主催者の皆さんは大変喜んでいました。

近年、わが国では、少子超高齢社会の到来、核家族化の急速な進行、一人暮らしや日中独居高齢者あるいは高齢者だけの世帯の増加、また、近所付き合いや地域のつながりの希薄化、ひきこもりや虐待といった新たな社会的課題の発生などさまざまな社会環境の変化が見られ、人々の生活や地域の中にも多様な課題が生じています。

牛久市社会福祉協議会では、そうした課題を解決するため、住民同士が思いやりを持って、支え合い、助け合って、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指して、市内8小学校区を単位として、住民主体の新たな支え合いの活動基盤である「地区社会福祉協議会」づくりを進めてきました。

奥野小学校地区は、牛久市の東部に位置し、農村部の11行政区と、高度経済成長期に主に県外から移住した人々で形成され誕生した団地を合わせた12行政区で構成されていますが、この地区全体にも、市社協の呼びかけに応じて、「地区社会福祉協議会をつくって、地域の問題や課題は地域住民で解決しよう。」と

いう機運が醸成されてきました。

そして、平成22年10月には、市社会福祉協議会と奥野小学校地区の12行政区の代表者が集まって協議を重ね、設立のための勉強会である「地域づくりセミナー」を地域福祉の専門家を交えて開催し、地域の課題や問題点を挙げていくことが決められました。

その後、各行政区長、民生委員児童委員をはじめ、各行政区から推薦された参加者等によって計7回に及ぶ勉強会が行われ、ここで挙げられた地域の課題が、「高齢化の波」や特に農村部に見られる「耕作放棄地」の問題でした。

こうして時間をかけた検討の末、平成23年2月27日に、「ふるさと奥野に 笑顔あふれる 人のふれあい・助け合い!」を基本理念とした「奥野小地区社会福祉協議会」が誕生しました。

平成23年奥野小学校区の高齢化状況

総人口	5,463人
高齢者人口	1,603人
高齢化率	29.3%

(牛久市高齢者福祉計画 うしく安心プラン21 第5期改定版)

同社協の活動は、おもに住民交流部会、支援活動部会、調査広報部会の3つの組織活動で進められています。

なかでも住民交流部会では、住民同士が協力して農作物を育てることで、農業の担い手の育成や住民同士の結びつきが強くなるのではとの期待から、耕作放棄地の有効活用を始め、その他住民の縁談・結婚をサポートする「結婚相談ふれあいサポート事業」、子供たち



奥野地区社会福祉協議会
副会長 唯根利夫さん



奥野小地区社会福祉協議会
副会長 中泉建治さん



奥野小地区社会福祉協議会の
越澤太朗会長



池辺牛久市長も一緒に！



2014年の秋そば収穫祭で披露されたダンス

が自分のまちを探索して自分たちの地域を知る「ぼうさい探検隊事業」を独自に行うなど、「住民の心をひとつにしよう」と精力的に活動しています。

また、活動を強力に推進するための拠点、住民同士のつながりを強める交流の場、住民が心安く寄れる「たまり場」は地区社協活動に必要不可欠なものであり、同社協の発足当初は奥野小学校の空き教室を借用していましたが、平成25年10月からは、牛久市から旧中央保育園（今回の「そば収穫祭」会場）の敷地・建物の無償貸与を受けて活動しています。

これは、県内でもめずらしいケースと言われており、これにより地区社協活動は一層活性化されるものと越澤会長や役員の皆さんは期待されています。

奥野小地区社会福祉協議会は、住民の力で地域を動かす“推進力”として機能しており、「高齢化の波」や「耕作放棄地」の問題に真摯に向き合い、その解決に向かって住民が主体となった活動の輪が、ここ牛久市で大きくなりつつあると強く感じた一日でした。



住民が協力して育て上げたそばを使用した「そばがきけんちん汁」。
秋そば収穫祭では、来場者に振る舞われました



地域の子どもから大人まで参加したそばの種付けの様子



秋そば収穫祭では地域で収穫された作物の販売も行われました

第19回茨城県健康福祉祭いばらきねりん文化祭わくわく美術展作品募集のお知らせ

高齢者の創作による美術作品を展示することにより、高齢者の芸術活動の促進や、生きがい健康づくりの増進を目的として、第19回茨城県健康福祉祭わくわく美術展を開催します。美術展開催にあたり、下記により作品を募集します。

◎わくわく美術展

【会期】平成27年2月21日（土）～27日（金）

【会場】茨城県立県民文化センター美術展示室及び分館

◎作品募集内容

【応募者資格】県内に在住する昭和31年4月1日以前に生まれたアマチュアの方

【募集部門】日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

【応募方法】

応募者は、下記期間内に、茨城県立県民文化センター搬入口へ、出展作品に出展申込書類を添えて応募を行う。

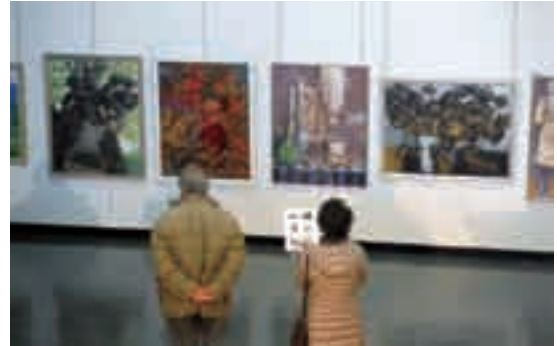
①期日：平成27年1月18日（日）～20日（火）

②時間：午前9時30分～午後4時

③場所：茨城県立県民文化センター搬入口（1階事務所側）

④申込書類について

- ・各市町村の高齢福祉担当課、教育委員会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、及び公民館等で配布を行っています。
- ・茨城県社会福祉協議会ホームページからダウンロードが可能です。



昨年度の美術展の様子

【問合せ先】

〒310-8586 水戸市千波町1918

茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター

TEL：029-243-8989

FAX：029-244-4652

平成26年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験の結果（10月26日(日)実施）

今年度の受験者は3,750名で、そのうち合格者は632名、合格率は16.9%という結果になりました。



<職種別合格者数構成比率>

職 種	合格者数（人）	構成比率（％）
介 護 福 祉 士	444	64.3
社 会 福 祉 士	52	7.5
看 護 師	51	7.4
相 談 援 助 従 事 者	23	3.3
作 業 療 法 士	22	3.2
理 学 療 法 士	17	2.5

県社協では、合格者を対象に「介護支援専門員実務研修」（7日間、47.5時間）を平成27年1月～3月にかけて実施します。実務研修の全課程を修了することにより介護支援専門員として登録ができ、介護支援専門員証が交付されることにより実際に実務に従事することができます。

「新設福祉施設 （増設を含む）の紹介」

平成26年8月1日～
平成26年10月31日までの開設

●特別養護老人ホーム あいおんの里羽鳥
社会福祉法人 陽康会
定員／60名 ユニット型
〒319-0121 小美玉市羽刈字五万堀653-1
TEL：0299-56-3123

●特別養護老人ホーム 白英荘
社会福祉法人 下総プリンスクラブ
定員／50名 ユニット型
〒306-0231 古河市小堤1796-2
TEL：0280-98-4318

福祉・介護職を目指す方へ ～就職相談会・面接会のご案内～

茨城県福祉人材センター（無料職業紹介所）では、福祉・介護職を希望する方を対象に、「福祉・介護職場就職相談会」や「地区別就職面接会」を開催しています。

福祉・介護職場就職相談会

就職活動や資格等に関する相談をお受けします。

開催日程	地域別開催会場	開催日程		
		1月	2月	3月
開催日程	[結城市地域] 結城市役所駅前分庁舎内	14 (水)	4 (水)	11 (水)
	[常陸太田市地域] 常陸太田市総合福祉会館内	13 (火)	10 (火)	10 (火)
	[高萩市地域] 高萩市総合福祉センター内	22 (木)	26 (木)	26 (木)
	[笠間市地域] 笠間市友部社会福祉会館内	8 (木)	12 (木)	12 (木)
	[牛久市地域] 牛久市役所分庁舎内	8 (木)	12 (木)	12 (木)
	[守谷市地域] いきいきプラザ・げんき館内	15 (木)	19 (木)	19 (木)
	[坂東市地域] 岩井福祉センター「夢積館」内	23 (金)	27 (金)	27 (金)
	[鉾田市地域] 鉾田市鉾田中央公民館内	16 (金)	27 (金)	20 (金)
	[東海村地域] 東海村総合福祉センター「絆」内	7 (水)	4 (水)	4 (水)
	[阿見町地域] 阿見町総合保健福祉会館内	23 (金)	27 (金)	27 (金)
相談時間	13:30～15:30			
参加対象	- 福祉の職場に就職を希望する方 - 福祉の職場に関心のある高校生／専門学校生／短大生／大学生の方 - 福祉の仕事／資格取得に関心のある方 - 求人事業所の方			
相談内容	- 求職に関する相談 - 福祉の仕事／資格等の相談 - 求人に関する相談			
参加方法	・相談無料 ・予約制			
申込・問合せ先	茨城県福祉人材センター TEL: 029-301-0294			



地区別就職面接会

福祉事業所との面談や福祉の仕事・資格等の情報提供を行います。

開催日及び会場	1月24日(土) 13:00～15:00 [会場: 常総市生涯学習センター (常総市水海道天満町 4684)] ※2月にも県央地区で開催を予定していますので、本会ホームページをご覧ください。
参加対象	福祉・介護の職場に就職を希望する方
参加方法	参加は無料で、求職者の事前の申込・予約は不要です。当日、会場で受付いたします。入退場は自由にできます。
参加事業所	20事業所が参加予定です。現在職員を募集している事業所や、新卒者（平成27年3月卒業見込者）の採用予定のある事業所などが参加します。
問合せ先	茨城県福祉人材センター TEL: 029-301-0294

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業

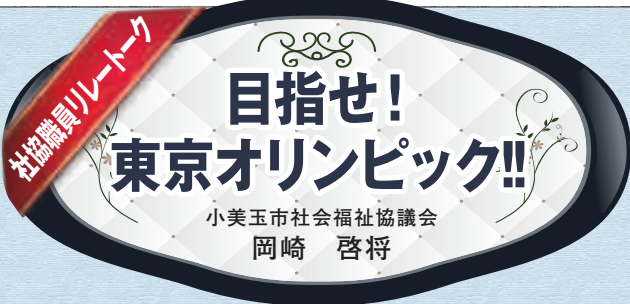
「福祉施設職員等研修ガイド」(平成27年1月～3月開催予定分)

1月		2月		3月	
13日	保育士特別研修	4～5日	リスクマネジメント研修B	3日	給食担当者研修
16日	公開講座	12～13日	業務改善手法研修	6日	社会福祉施設等看護職員研修
		18日	保育所保育士研修	10～11日	ファシリテーション研修
		25日	社会福祉施設等管理代表者研修		

※日程につきましては、あくまで予定です。講師との調整などにより、開催日が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
※なお、県社協ホームページ「福祉の仕事・研修」からも研修案内が閲覧できますので、ぜひご活用ください。

【問合せ先】 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部 TEL: 029-244-3755





私は、最近になって目標ができました。東京オリンピックです。当然、選手としてはありません。聖火ランナーを目指しています。

太り気味であった私は、当時3歳の娘に嫌われたくない一心で、同僚の誘いもあり6年前から走り始めました。初めてエントリーした大会は、土浦市社協・かすみがうら市社協も主催している、かすみがうらマラソンの10マイル(約16Km)でした。こんな距離を走るのは人生で初めてで、また、大した練習もしなかったで、グダグダの結果でしたが、レース後のビールは格別で、こんなにおいしく感じたのも人生初でした。それからというもの、練習会に参加したり、知人・友人で走っている人達と、走っては飲み、走っては飲みを繰り返し、何とかフルマラソンを走り切れるまでにしました。

平成25年のある日、ふと新聞を見ると「みちのくからつながろう 未来への道 1000Km 縦断リレー出場者募集」の記事が目に入りました。東日本大震災の復興支援と東京オリ

ンピック招致が目的の企画で、青森から東京まで、聖火リレーのルートを想定したコース設定になっていました。復興支援と言われれば、社協職員として参加しない訳にはいきません。仲間2人を巻き添えにして、いわき市から大洗町までのリレーに参加しました。するとどうでしょう。今までは、自分がおいしいビールを飲むためにだけ走ってきましたが、青森から続くタスキを東京まで繋げなければならない使命や、誰かのために走るというミッションが伴うことで異様にテンションが上がり、とても充実したリレーをすることができました。

今はまだ、聖火ランナーの募集はされていませんが、一般人の参加も全く不可能ではないようです。いつの日にかまた、誰かのためになるマラソンをしてみたいものです。参加が決まったら、はんどちゃんの着ぐるみで走りますので、応援よろしくお願いします。

大洗町社協の栗原次長、サッカーネタじゃなくってごめんなさい。今回は、かすみがうら市社協の大久保君にお願いします。また飲もうね。



タスキが繋がりました

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成26年度

全国200万人
加入!!

補償金額(保険金額)

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,200万円 (別表額)	1,800万円 (別表額)
入院保険金日額		8,500円	10,000円
手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (別表額)	5億円 (別表額)

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ* (基本タイプ+地震・洪水・津波)		460円	690円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

*天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故に遭った。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこぼした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

●お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL: 03 (3593) 6245

取次代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
受付時間: 平日の 9:30~17:30 (12/29~1/3 を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

日本興亜損害保険ジャパンは、関係協会の認可等に基づいて、平成26年9月1日より、合併し「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。

※本サービスは、平成26年度から開始となります。

INFORMATION

開催案内 公開講座（子育て支援セミナー）のお知らせ

女性が働きやすい環境づくりや、男性の地域・家庭への積極的関わりを促進するためのワークライフバランスを考慮した働き方と、職場内の環境づくりの実践について学びます。

■テーマ

「父親が変われば、社会が変わる ～男性の育児や地域参画～ 職場のワークライフバランス マネジメントの実践について」

■講師

NPO法人Fathering Japan

ファウンダー・代表理事 安藤哲也 氏

■日時

平成27年1月16日（金）
13：00～15：30

■会場

茨城県総合福祉会館 大研修室
（水戸市千波町1918）

■対象者

介護サービス・福祉関係事業所の人事担当職員、育成面接担当職員、職場研修担当職員、保育所、子育て支援事業等の担当者、子育て支援対策に関心のある方 など

■定員

100名

■受講料

5,000円

■問合せ先

茨城県福祉協議会 福祉人材・研修部
TEL：029-244-3755

開催案内 平成26年度福祉サービス苦情解決研修会を開催します

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切に対応するため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした研修会を開催します。

■日時

平成27年3月3日（火）

■会場

茨城県立県民文化センター大ホール
（水戸市千波町東久保697）

■内容・申込

2月上旬に県社協HPで詳細を掲載しますのでご確認ください。

開催案内 サロンコンサートを開催しています

■日時・内容

・1月23日（金）12：10～13：00

内容：ポピュラー・ジャズ演奏

出演：コンボ

・2月20日（金）12：10～13：00

内容：マンドリン演奏

出演：ママビレマンドリンクラブ

・3月19日（木）12：10～13：00

内容：トランペット演奏

出演：ココナッツ石井

■会場

茨城県総合福祉会館 県民サロン
（水戸市千波町1918）

■問合せ先

茨城県社会福祉協議会 総務部（茨城県総合福祉会館事務室）
TEL：029-244-4545

募集 「高齢者はつつつ百人委員会」委員を募集します

高齢者自らが地域の高齢者を対象に健康づくり、生きがいづくりに関する事業を企画し実施する委員会です。

■応募資格

県内に住んでいる概ね60歳以上で、委員会の活動にきちんと出席できる方。
※委員として5期10年務めた方を除く。
※地方公共団体の長及び議員は除く。
※報酬・交通費はなし。

■任期

平成27年4月から平成29年3月末日

■応募方法

はがきに住所・氏名（フリガナ）・年齢・性別・電話番号と「応募の動機、活動の抱負、社会活動歴など」を明記し、3月13日（金）まで（当日消印有効）に

申し込んでください。

■応募・問合せ先

〒310-8586 水戸市千波町1918
茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター
TEL：029-243-8989

募集 特技を生かして、ボランティア活動をしたい方！元氣シニアバンクに登録しませんか？

■元氣シニアバンクとは

・豊富な知識・技術・経験・ノウハウを持った高齢者が登録されている人材バンクです。

・原則無償です。（交通費、材料代は、原則依頼者のご負担になります。）

■登録されると

茨城わくわくセンターが、団体等からの依頼を受け、登録されている方（茨城シニアマスター）と調整を行い、活動者を決定します。

■登録したいとき

元氣シニアバンク登録申請書により、茨城わくわくセンター宛にお申込みください。（登録要件有）

■問合せ先

茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター
TEL：029-243-8989

No295 お詫びと訂正

2014年9月25日に発行した「いばらきの社会福祉 No295」において誤りがありました。正しくは以下のとおりです。

- P12 下段 左の写真
（誤）常陽銀行株式会社 様
（正）常陽新聞株式会社 様

- P12 下段 中央の写真
（誤）茨城県遊技業防犯協会 様
（正）茨城県遊技業防犯協力会 様

読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、訂正させていただきます。

茨城県総合福祉会館 利用の案内

茨城県総合福祉会館では、広く県民の皆様に気軽にご利用いただけるよう、県民サロンを利用したサロンコンサートの開催や、ギャラリーでの展示会をはじめ、コミュニティホール（定員 296 名）・多目的ホール・研修室の貸出しを行っています。各種講習会や研修・会議等にご利用ください。

〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548



わかち合おう小さな善意

平成26年8月～平成26年10月 善意金等の預託と払い出し状況（敬称略）

各基金の預託（寄付・寄贈）状況についてご報告いたします。心あたたまご支援、ありがとうございます。
お預かりいたしました寄付・寄贈につきましては、預託者様からの御意向を尊重して使用させていただきます。

交通遺児福祉基金

預託者名	金額（円）
茨城県自動車整備振興会	105,000
海老根道雄	30,000
合 計	135,000

集まった使用済み切手・カード等は・・・
県社協で整理をし、買取業者で換金し、県内のボランティア活動の助成資金としています。



善意金

預託者名	金額（円）
モアナスターズ	30,000
一般社団法人 日本バーテンダー協会茨城県本部 茨城支部	53,803
丸大食品株式会社	9,890
茨城北部読売会	100,000
匿名	1,000,000
合 計	1,193,693



茨城北部読売会 様

一般社団法人 日本バーテンダー協会
茨城県本部 茨城支部 様

モアナスターズ 様

善意品

預託者名	善意品	払出先名
特定非営利活動法人 フードバンク茨城	JTジュース晩柑しぼり 500ml 24本 2箱 米 60kg	茨城県社会福祉協議会・NPO法人 NPO法人NGO未来の子どもネットワーク
公益財団法人 報知社会福祉事業団	プロ野球招待 48名	社会福祉施設
早川ぶどう園	ぶどう狩り招待 43名	社会福祉施設

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名			
にいほり園	水戸緑岡郵便局	茨城県庁	常陽ボランティア倶楽部
伊藤未来	茨城県企業局 水道管理センター	村田久子	株式会社ブックエース
茨城県母子募婦福祉連合会	郡司 彰 事務所	社会福祉協議会（常陸大宮市、古河市、阿見町、城里町、小美玉市、笠間市、高萩市、日立市、龍ヶ崎市、神栖市、土浦市、水戸市、結城市）	
関彰商事株式会社ビジネスソリューション部	水戸支店		
公益財団法人 いばらき文化振興財団	茨城県立県民文化センター		

いばらきの社会福祉
Social Welfare of Ibaraki

発行者／

社会福祉法人

茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 水戸市千波町1918

TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434

HP <http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

携帯電話で読み取るだけで
簡単に「茨城県社協HP」に
アクセスできます



環境に配慮して再生紙と大豆油インキを使用しています